

## 平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 第一カッター興業株式会社

コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	1,885	10.5	31	△4.8	46	△9.4	67	93.9
23年6月期第1四半期	1,705	21.8	32	—	50	654.1	34	919.9

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 64百万円 (85.0%) 23年6月期第1四半期 35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	23.56	—
23年6月期第1四半期	12.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第1四半期	5,655	4,225	74.1	1,457.61
23年6月期	5,492	4,190	75.6	1,444.20

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 4,191百万円 23年6月期 4,153百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,733	△1.6	187	△12.7	190	△6.3	93	△13.4	32.34
通期	7,320	0.8	278	36.2	283	25.3	152	23.5	52.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期1Q	3,000,000 株	23年6月期	3,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年6月期1Q	124,070 株	23年6月期	124,070 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期1Q	2,875,930 株	23年6月期1Q	2,875,930 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、輸出や生産が大幅に減少し、設備投資や個人消費も萎縮するなど、厳しい状況で推移いたしました。

建設業界も、公共工事が低調に推移していることに加え、民間工事においても企業の設備投資意識が弱く、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況下で、当社グループは東日本大震災における被災地の復旧・復興支援に尽力する一方、新規顧客の開拓や材料費等のコスト削減にも取り組み、その結果、グループ全体の完成工事高は1,885百万円(前年同四半期比10.5%増)となり、営業利益は31百万円(前年同四半期比4.8%減)、経常利益は46百万円(前年同四半期比9.4%減)、第1四半期純利益は67百万円(前年同四半期比93.9%増)となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期(7月～9月)・第4四半期(4月～6月)に減少し、第2四半期(10月～12月)・第3四半期(1月～3月)に増加いたしました。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、耐震補強関連工事、鉄塔基礎補修関連工事、高速道路補修関連工事、民間設備投資関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事業の完成工事高は1,872百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。

#### (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、前期に引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は12百万円(前年同四半期比96.4%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度に比べ163百万円増加し、5,655百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ127百万円増加し、1,429百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、4,225百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は74.1%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月12日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算について、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示してあります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,611,995	1,496,225
受取手形・完成工事未収入金	1,463,475	1,751,589
未成工事支出金	75,097	79,563
材料貯蔵品	53,060	68,155
繰延税金資産	16,015	16,015
その他	62,016	51,648
貸倒引当金	△13,582	△16,038
流動資産合計	3,268,079	3,447,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	387,454	387,454
減価償却累計額	△164,921	△168,768
建物及び構築物(純額)	222,533	218,686
機械装置及び運搬具	1,732,032	1,708,282
減価償却累計額	△1,456,080	△1,430,587
機械装置及び運搬具(純額)	275,952	277,694
工具、器具及び備品	66,414	66,414
減価償却累計額	△60,183	△61,008
工具、器具及び備品(純額)	6,231	5,406
土地	1,278,952	1,263,614
有形固定資産合計	1,783,668	1,765,402
無形固定資産	19,978	19,425
投資その他の資産		
投資有価証券	100,256	109,102
繰延税金資産	185,679	185,679
その他	161,661	154,078
貸倒引当金	△27,246	△25,642
投資その他の資産合計	420,350	423,218
固定資産合計	2,223,998	2,208,045
資産合計	5,492,078	5,655,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	353,633	359,766
短期借入金	44,316	44,316
未払法人税等	12,599	53,939
賞与引当金	28,773	115,333
その他	322,742	331,046
流動負債合計	762,064	904,401
固定負債		
長期借入金	100,679	97,100
退職給付引当金	369,679	371,801
役員退職慰労引当金	63,862	50,683
負ののれん	1,140	912
資産除去債務	4,494	4,510
固定負債合計	539,855	525,008
負債合計	1,301,919	1,429,409
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	3,324,468	3,363,017
自己株式	△106,438	△106,438
株主資本合計	4,153,429	4,191,978
少数株主持分	36,728	33,817
純資産合計	4,190,158	4,225,795
負債純資産合計	5,492,078	5,655,205

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
完成工事高	1,705,812	1,885,269
完成工事原価	1,254,581	1,416,974
完成工事総利益	451,230	468,295
販売費及び一般管理費	418,274	436,919
営業利益	32,956	31,375
営業外収益		
受取利息	72	19
受取保険金	5,999	642
負ののれん償却額	228	228
持分法による投資利益	8,204	8,846
雑収入	4,036	5,480
営業外収益合計	18,540	15,216
営業外費用		
支払利息	570	457
売上債権売却損	2	11
雑損失	—	0
営業外費用合計	572	469
経常利益	50,924	46,122
特別利益		
償却債権取立益	108	—
固定資産売却益	3,078	84,165
保険解約返戻金	2,357	6,109
役員退職慰労引当金戻入額	—	15,595
特別利益合計	5,544	105,869
特別損失		
固定資産売却損	60	5,400
固定資産除却損	—	377
和解金	—	30,000
特別損失合計	60	35,777
税金等調整前四半期純利益	56,408	116,214
法人税等	21,347	51,358
少数株主損益調整前四半期純利益	35,061	64,855
少数株主利益又は少数株主損失(△)	115	△2,911
四半期純利益	34,946	67,766

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,061	64,855
四半期包括利益	35,061	64,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,946	67,766
少数株主に係る四半期包括利益	115	△2,911

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,699,563	6,248	1,705,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,699,563	6,248	1,705,812
セグメント利益又は損失(△)	226,110	△9,546	216,563

(注) 報告セグメントの売上高合計額は、連結財務諸表の完成工事高と一致しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	216,563
のれん償却額	△104
全社費用(注)	△183,503
四半期連結損益計算書の営業利益	32,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,872,998	12,271	1,885,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,872,998	12,271	1,885,269
セグメント利益又は損失(△)	259,619	△8,084	251,534

(注) 報告セグメントの売上高合計額は、連結財務諸表の完成工事高と一致しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	251,534
のれん償却額	△104
全社費用(注)	△220,054
四半期連結損益計算書の営業利益	31,375

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。